

--	--	--	--	--	--

小牧市(愛知)住民投票結果をどうとらえるか—

これからの図書館の運営方策

～公共図書館の指定管理者制度—課題解決型サービスの導入・活用方策～

- CCCの公立図書館の管理運営—どんな「モノサシ」でどう評価するか
- 小牧市TSUTAYA図書館住民投票—市民は何に「NO」を突き付けたか
- ヴィアックスの図書館運営—指定管理としての運営とサービス開発
- 公共サービスの再編成と図書館—供給サイド・需要サイドの革新

2016年2月9日(火) 10:00～16:40

剛堂会館・第1会議室 (東京・千代田区)

【講師陣】

- 糸賀 雅児 氏 / 慶應義塾大学文学部教授
- 加賀美 徹 氏 / ㈱ヴィアックス図書館事業本部営業企画部部長
- 竹内 一晴 氏 / ジャーナリスト
- 金井 利之 氏 / 東京大学大学院法学政治学研究・科法学部公共政策大学院教授

- 会場：剛堂会館・会議室
東京都千代田区紀尾井町3-27
TEL03-3234-7362 (案内図は申込後送付)

■ 参加費 (1名分)

	1名参加	2名以上参加
行政・議員	25,000円	24,500円
一般	35,000円	34,000円

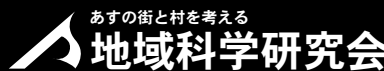
当日参加で申込後にご都合が悪くなった場合には代理の方のご出席をお願い致します。

- 支払方法：請求後の振込・郵便振替・当日払い
みずほ銀行麹町支店 普通1159880
三井住友銀行麹町支店 普通7411658
三菱東京UFJ銀行神田支店 普通5829767
郵便振替:00110-8-81660 口座名:㈱地域科学研究会

- 申込方法：下記の申込書に所要事項を記入の上送付下さい (FAX・郵送・メール等)

請求書等書類が不要の方は開催日までに上記口座へ振込をお願いします (受講証/会場地図はFAX送信)。書類が必要な方には受講証と共に郵送しますので到着後にお支払いをお願いします。領収書が必要な方には当日受付でお渡し致します (日付、但書等の留意点があれば明記下さい)。

お申し込み・お問い合わせ



東京都千代田区一番町6-4ライオンズ第2-106
TEL03(3234)1231 FAX03(3234)4993 〒102-0082
<http://chiikikagaku-k.co.jp/>

【申込書】 FAX：03-3234-4993 Email：machi@chiikikagaku-k.co.jp

年 月 日

□ 研修会『これからの図書館の運営方策』への参加

勤務先
(請求書等宛先名)

連絡担当者

所在地〒

TEL

参加者氏名

所属部課役職名

FAX

Email

〈通信欄〉○を付けて下さい

支払方法 (請求後の振込・郵便振替・当日払い)

必要書類 (納品書・請求書・見積書・領収書)

※ご記入いただいた個人情報は、当会の活動(セミナー・出版等の申込受付、連絡、請求、案内等)のみに使用させていただきます。

時	講 義 内 容
<p>10:00</p> <p>11:30</p>	<p>図書館のサービスと運営の最新動向</p> <p>慶應義塾大学教授（図書館情報学） 糸賀 雅児 氏</p> <ol style="list-style-type: none"> CCCによる公立図書館の管理運営 <ul style="list-style-type: none"> ○全国の図書館関係者のみならず自治体関係者の注目的 ○図書館というよりブックカフェの魅力で人を集める公設民営ブックカフェ ○従来の図書館のモノサシでは測れないし、測ってもいけない ◎ 来館者の増加に比べて伸びない貸出数 → 図書館部分（特に、レファレンス機能）が弱い ◎ その一方で、マーケティングやブランディングでは、自治体直営はとても太刀打ちできない ◎ カフェと書店が求められていることを熟知し、水平展開でその経営ノウハウを移転 □入り口増設、フロア階段導入、円形書架、プラネタリウム・ドームの児童書コーナーなど、リニューアルした海老名市立図書館の改装は「お見事」のひとつ □武雄市図書館での不適切図書購入と前市長のCCC関連企業の天下り報道から風向きが変わった □物販による1年365日、1日12時間開館のビジネスモデルは変わらない、だが当面は赤字？ □これをもって「だから民間はダメ」と、すべての民間事業者を問題視することはできない 公共図書館における「貸出猶予」問題 <ul style="list-style-type: none"> ○新潮社の佐藤社長が震源地。なんでいまさら「貸出猶予」なのか？ ○読みたい人はお金を払うか、時間を払うかの選択を。 ○公共図書館の評価指標は貸出し中心で良いのか？ ⇒ 館内閲覧量の測定とレファレンスを 『絶歌』（神戸連続児童殺傷事件犯人元少年A 著）の図書館での扱い <ul style="list-style-type: none"> ○図書館の「公共性」を考えるうえで“格好”の出版物 ○この場合「公共性」＝「公益性」の視点から、誰にとつての「利益」を優先して考えるか？ ○図書館利用者の「利益」か、被害者遺族の「利益」か？ ⇒ 多数決では決められない 公共図書館における課題解決型サービス <ul style="list-style-type: none"> ○地域住民が「困ったとき」「分からないとき」に図書館や司書が相談相手に浮かぶ ○ビジネス支援、健康・医療コーナー、法律情報提供に限られない課題解決支援 <ul style="list-style-type: none"> 他に、地域の安心・安全、衣食住の安心・安全、防災・減災、子育て・介護支援、進学・進路選択、セカンドライフ・年金相談、ひとり暮らし支援、など ⇒ これらの課題解決のスピードを早める図書館サービス <p style="text-align: right;">※以上の内容でご講演いただく予定です。 【質疑応答】</p>
<p>11:40</p> <p>12:50</p>	<p>指定管理者としての図書館経営の実際</p> <p>(株)ヴィアックス図書館事業本部営業企画部部长 加賀美 徹 氏</p> <p>株式会社ヴィアックスは、平成15(2003)年より図書館業務に参入しました。同19(2007)年に千代田区立図書館の指定管理者となり、図書館に指定管理者制度を導入する自治体の増加に伴い、受託館数も増えています。現在では、20自治体より指定管理者・業務委託合わせて67館の業務に携わっています。「人にやさしい会社」を目指して、社員への研修制度の徹底と多彩な自主事業を行うことで、地域の皆様の“ゆめ”の実現をお手伝いする図書館づくりに努めています。以上を踏まえてご報告致します。 【質疑応答】</p>
<p>13:40</p> <p>15:00</p>	<p>小牧市TSUTAYA図書館問題とこれからの公共図書館</p> <p>一市民は何にNOを突き付けたのか 小牧市の住民投票結果を手がかりに</p> <p style="text-align: right;">ジャーナリスト 竹内 一晴 氏</p> <ol style="list-style-type: none"> 小牧市の特徴と住民投票までの新図書館計画経緯 市民の中にあるTSUTAYA図書館への期待と反発 公共図書館とはどうあるべきかを考え始めた市民 今後の公共図書館運営の行方—TSUTAYA図書館はどうか <p style="text-align: right;">【質疑応答】</p>
<p>15:10</p> <p>16:40</p>	<p>自治体公共サービスの再編成～ミクロとマクロの悪循環～</p> <p style="text-align: right;">東京大学大学院法学政治学研究科 法学部公共政策大学院教授 金井 利之 氏</p> <ol style="list-style-type: none"> はじめに 「国土の均衡ある発展」体制～民間請負主義～ <ol style="list-style-type: none"> ①「戦後・ドッジ改革」と「小さな公務員制度」 ②開発自治体 ③「開発」の看板のもとでの「官公需」創出 「国土の均衡なき停滞」体制～民間委託主義～ <ol style="list-style-type: none"> ①「改革で失われた二十年」と「さらに極小な公務員制度」 ②リストラ自治体～ミクロの成功によるマクロの失敗～ ③経済縮小の悪循環 公共サービスの再編成 <ol style="list-style-type: none"> ①ミクロとマクロの好循環への道程 ②需要サイドの革新～増税と「社会保障経済」体制 ③供給サイドの革新～リストラ以外の「政策／企業」家精神 おわりに <p style="text-align: right;">【質疑応答】</p>